

第 30 回 腸内細菌学会学術集会 概要

メインテーマ「マイクロバイオーム研究の未来地図

—腸内細菌とともに拓く次世代医療—

■会 期：2026 年 6 月 9 日（火）～10 日（水）

■会 場：タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）

■大会長：長岡 正人（株式会社ヤクルト本社中央研究所 所長）

■早期申込登録：2026 年 3 月 2 日 ～5 月 20 日

会員 9,000 円 一般 13,000 円 学生会員 1,000 円 学生（一般）2,000 円

通常申込登録：2026 年 5 月 21 日 ～6 月 10 日

会員 11,000 円 一般 15,000 円 学生会員 1,500 円 学生（一般）2,500 円

■大会ホームページ：<https://bifidus-fund.jp/meeting/index.shtml>

■お問い合わせ先：公益財団法人腸内細菌学会事務局

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12

TEL: 03-5319-2669 FAX: 03-5978-4068 e-mail: jbf@ipec-pub.co.jp

【6 月 9 日（火）】

（午前の部）9：55～12：00

・ 9：55 ～10：00 開会の挨拶

・ 10：00～12：00 （小ホール）若手ワークショップ 口頭発表（※優秀発表賞選考対象演題）

（1 演題 8 分×8 題程度：質疑有）

（大ホール）ワークショップ 口頭発表（一般枠）

（1 演題 12 分×9 題程度：質疑有）

（昼休憩）12：00～13：30

12：15～13：15（2F 瑞雲・平安）ランチョンセミナー（2 社予定）

（午後の部）13：00～18：00（大ホール、ほか）

・ 13：30～14：20 （大ホール）ワークショップ 口頭発表（一般枠）

（1 演題 12 分×4 題程度：質疑有）

・ 14：30～15：50 腸内細菌学会学術集会 30 周年記念講演

特別講演 1 神谷 茂（杏林大学）

「腸内細菌学会 30 年の歩みとこれから：アカデミアの視点から」

特別講演 2 梅崎 良則（腸内細菌学会 前総務主幹）

「腸内細菌学会 30 年の歩みとこれから：

企業の視点から —アカデミアとの出会い—」

- ・ 15：50～16：50 海外特別講演 Clara Belzer (Wageningen University, Netherlands)
- ・ 17：00～18：00 ワークショップ ポスター発表 (1F 展示ホール)
- ・ 18：00～19：30 情報交換会 (2F イベントホール (福寿・桃源))

6月9日(火) 13:30～15:30(小ホール) 市民公開講座『腸内細菌と運動』

青柳 幸利(東京都健康長寿医療センター)「長生き歩きと腸活の効果について
—中之条研究 25 年の成果—」
横山 幸浩(名古屋大学)「手術前には「筋肉」と「腸」を鍛えましょう！
：プレハビリテーションとシンバイオティクスの有用性」

【6月10日(水)】

(午前の部) 9：30～12：00 (大ホール)

- ・ 9：30 ～12：00 シンポジウム 1 『腸内細菌叢のダイナミクス：
発達・加齢と健康への影響を探る』(30分×5名、質疑含む)
 - 河本 新平 (東北大学)
「細胞老化を介した腸内細菌叢による老化促進機構」
 - 中山 二郎 (九州大学)
「アジアンワイドに視る小児期の食と腸内細菌叢と健康の関連性」
 - 明和 政子 (京都大学)
「腸-脳軸からみたヒト発達における親子共制御のダイナミクス」
 - 天本 隆太 (株式会社ヤクルト本社中央研究所)
「高齢者の腸内細菌叢と、それに影響を及ぼす諸因子」
 - 宮本 潤基 (東京農工大学)
「加齢依存的な腸内細菌代謝物と生体エネルギー代謝制御」

(昼休憩) 12：00～13：30

(大ホール) **技術セミナー** (※昼休憩中の開催予定)

(午後の部) 13：30～16：00 (大ホール)

- ・ 13：30～14：55 ワークショップ 口頭発表 (一般枠)
(1 演題 12 分×7 題程度：質疑有)
- ・ 15：05～17：35 シンポジウム 2 『マイクロバイームを活用した疾患制御と
ウェルビーイング創出』(30分×5名、質疑含む)

- **小山 正平（国立がん研究センター研究所）**
「マイクロバイオームを活用したがん免疫微小環境制御の可能性」
- **北本 祥（大阪大学 免疫学フロンティア研究センター）**
「口腸連関から紐解く癌原性細菌の体内動態と制御への展望」
- **松岡 悠美（大阪大学 免疫学フロンティア研究センター）**
「微生物を利用したアトピー性皮膚炎の予防、治療の可能性について」
- **柳原 格（大阪母子医療センター）**
「周産期医療分野における腔内細菌叢の重要性」
- **石川 大（順天堂大学）**
「腸内細菌療法の実状と展開」

・ 17：35～17：45 閉会の辞

※ 尚、シンポジウムの発表時間・発表順・タイトルについては仮であり、未定です。